

とままえ

1

No.641



風かおる
人が輝き
躍動するまち



陽岱鋼選手は
鶴久森淳志選手



2015年
苫前町の
応援大使です!

まちひと百景

本町の応援大使は 陽岱鋼選手と鶴久森淳志選手に!

北海道日本ハムファイターズが道内の住民と交流を図りながらまちづくりやまちおこしに寄与する「179市町村応援大使」で本町が当選、その応援大使を決めるくじ引きで「苫前町」を引き当てたのは、陽岱鋼選手と鶴久森淳志選手のお二人。

両選手は2015年1月1日から12月31日までの1年間任期中は、広報誌やホームページ、イベント、行事など球団が認可するものへの協力ができることとなった。

当町も後援会発足や野球教室など何かと縁のある「北海道日本ハムファイターズ」。この機会に皆さんも球団及び応援大使の両選手の応援を!

- 森町長新年あいさつ...2
- 星野議長新年あいさつ...3
- 英語弁論大会で全国大会へほか...4
- 表彰と交流の集いほか...5
- 成人用肺炎球菌ワクチン予防接種ほか...6
- 学びの広場...7
- 後期高齢者医療ガイド...8
- 国民年金...9
- 健康ばんざい・住まいる情報...10
- 住まいる情報...11
- ちびっこギャラリー...12

まちの人口

人口/3,396人(男/1,610人・女/1,786人)
世帯数/1,624世帯 (11月30日現在)

URL:<http://www.town.tomamae.lg.jp>

「人が輝き躍動するまち苦前町」を目指して



苦前町長
森 利男

新年あけましておめでとうございます。皆様におかれましては、お健やかに輝かしい新春をお迎えのことと存じ心からお慶び申しあげます。

日頃から本町発展のためにそれぞれのお立場で活躍をいただき、ご指導ご支援を賜り厚くお礼申しあげます。

昨年12月に実施された第47回衆院選は戦後最低に落ち込んだ投票率でありましたが、経済政策「アベノミクス」を継続しデフレ脱却を実現していくことになると思われ、日本経済の再生や地方再生を最重点に景気回復や社会保障の充実等を最優先に進めてほしいと思っております。

一方で領土問題、TPP問題、消費税問題、人口減少、高齢化問題など日本は様々な課題に直面しており、こうした課題は自治体運営にも大きく影響を及ぼすものであり、早急な対応が求められるところでもあります。更には年金、医療等を含め住民生活に直接関係する項目についても減額や引き上げが重くのしかかってくる状況にあります。

このような歴史的な大変革期の中で時代を先取りし、町民との「協働」を大切にした新しい時代にあった夢と志を実現するため、本町のまちづくりをどう構築するかを皆で充分議論を重ね、町民力、地域力を発揮し、防災も含め住民が安心して暮らせる豊かな地域社会とまちの個性を生かした多様性と創造性にあふれる社会の実現に向けて積極的に取り組んでいくこととしています。

このようなことから特に地域社会の最前線で

住民サービスを担う市町村の役割と責任は益々重要になってきているものと思っております。

まちづくりの原則は「自分たちのまちは自分たちでつくる」ことで、これからの時代は市町村が日本を支える存在価値を持つことであり、従って今まで以上に民間活力の感覚を生かしながら行政改革や財政改革を進め、まちの経営体制を整えていくこととしています。

町財政の健全化は完了しました。従って今後は更に町民各位に直接関連する事項で本町として将来まちの力になるような、そして人口が増えるような政策をどんどん町政運営の項目に入れて積極的に展開していくこととしています。

「事前の一策は、事後の百策に勝る」
また本町の主要産業であります農林業、漁業、商工業については、各産業毎に積極的に議論し町へ提案していただいております。着々と項目を整理しています。

現在は耐震化をした防災拠点施設としての機能をもたせた古丹別小学校の校舎新築を行っております。今後は苦前小学校校舎新築や一次産業での大型施設や施設整備、更には子育て支援施設等の整備も予想されておりますが、財政対策を含め将来まちの拠点となる施設としてしっかり対応していくこととしています。

現在日本の人口は減少しています。従って各市町村は特に人口を増やす対策を積極的に進めており、本町でも町営住宅の整備、住宅建築助成、子育て支援対策、中学生までの医療費無料対策、保育料の大幅減額等、更には高齢者対策では「ここにこタクシー」や「いやしふれあい助成事業」など町民皆様のアイデアを採用し、積極的に事業展開をしています。今後ぜひ楽しみにしていきたいと思っております。

また、風力発電の普及に向けた送電網の整備についても新会社設立され、いよいよ具体化されてきますが、町へのメリットや地域活性化、再生

可能エネルギーを活用した循環型社会の検討をしているところでもあります。

このようなことから今後のまちの将来展望は他市町村との緊密な連携を図りながら進めることとしており、その中で本町の発展は特に管内及び近隣町村との発展が不可欠であります。

「決断、実行そして前進」 「一意専心」

高い志を持ち、活力に満ちあふれる心豊かでも夢と希望をもち、困難に向かうたくましさをもって頑張っていくこととしています。

豊かなまち、素晴らしい町民力そして本町の地域資源を町民みんなが一体となって磨き、夢の実現に向かって更に魅力を高め「人が輝き躍動するまち苦前町」であり続けるために全力を尽くすこととして

本年はご家族、皆様にとりましてご健勝で幸多い素晴らしい年でありますようご祈念申し上げます。



新年のごあいさつ

苦前町議会議長 星野恭司

新年あけましておめでとうございます。
平成27年の年頭に当たり、謹んで新春のご挨拶を申し上げます。
町民の皆様方には、平素より議会に対しまして格別のご理解とご協力を賜り厚くお礼申し上げます。

さて、昨年の国政を見て参りますと安倍首相は、年末の忙しい時期に突然衆議院を解散し、経済政策を主要争点とした師走の総選挙も与党の圧勝に終わり、安倍政権の経済政策「アベノミクス第3の矢」の成長戦略は道筋が見通せないまま、経済再生の議論も深まっていな思われます。

このような状況のもとで景気回復の鈍さが改めて浮き彫りになり、町政が取り組むべき課題も人口減少、少子高齢化に加え、基幹産業である農水産業に対する環太平洋連携協定(TPP)交渉がヤマ場を迎える問題など、町政の活性化には大きな課題が山積しております。また、昨年8月には集中豪雨により河川の氾濫や土砂崩れ等により多くの施設が損壊したことから、今年の作付けに支障がでないよう災害復旧に全力を尽くさなければなりません。

本町の財政状況は持ち直し傾向にありますが、地域経済や景気の停滞傾向が続いており劇的な好転は困難と考えられることから、住民の皆様の意欲減退を防ぎ所得の循環機能を果たす施策が必要です。

そのため、町民の皆様には行政に対し意見・要望をいただき、町政や議会の活動にも関心を持ち、ともに汗を流し可能な範囲で協力していただく、こうした協働の視点が今後のマチづくりの大事なことであり、住民参加がマチを活性化し地域力の向上になるものと考えております。

特に春には統一地方選挙が行われますが、地域住民の住みよい地域づくりのため行財政全般にわたる意思決定機関の権利を持つ議会活動へ住民の積極的参加を期待しているところであります。

今後とも、町当局と互いに協力しあい、町政進展に向けて全力を傾注する覚悟を新たにしているところであります。

年頭に当たり、今年には災害のない明るく希望の持てる年となりますとともに、皆様方のご健勝とご多幸を心から祈念申し上げ、新年のごあいさつとさせていただきます。

本年も宜しく
お願いいたします



議長 星野恭司
副議長 間宮英明
総務産業常任委員会

委員長 青木幸隆
副委員長 西 大志

阿部俊一
田沢 收
小倉哲志
千葉勇一
間宮英明
星野恭司

議会事務局

事務局長 伊藤信行
総務係長 平井裕美
書記(併任) 島田秀美
〃 横野宏和
〃 戸川恵介